

厚生労働科学研究費補助金・厚生労働行政推進調査事業費補助金
(新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業) (分担) 研究報告書

三重県における侵襲性細菌感染症サーベイランス

研究分担者 三重県立一志病院 丸山貴也

研究要旨：人口ベースで成人の侵襲性細菌感染症を評価する体制を構築することで罹患率が算定でき、その特徴を解析することで、より適切な治療、予防を確立することができる。

A. 研究目的

1. 三重県の医療機関で発症した成人の侵襲性細菌感染症を評価する体制を構築する。
2. IPD, IHD, STSS, IMD と診断された症例の患者情報と菌株を収集し、感染症研究所で荚膜型、遺伝子型、薬剤感受性などを精査する

B. 研究方法

1. 三重県の基幹定点医療機関 9 施設+1 施設については保健環境研究所で菌株、患者情報を一括して収集し、国立感染症研究所へ送付する。
2. それ以外の医療機関については、三重県立一志病院で菌株を収集し、国立感染症研究所へ送付する。

(倫理面への配慮) 本研究では、必要な検体は研究参加前に採取、保存されている菌株を用いるため、予想される不利益は少ないものと考えられる。

C. 研究結果

三重県在住者では、令和 6 年度は IPD 7 例、IHD 3 例、STSS 23 例、IMD 1 例が集積された。今年度の IPD 荚膜型は 35B 型:2 例, 3 型:2 例, m19A : 1 例、23B : 1 例、15A:1 例であった。

D. 考察

令和 5 年度と比較し、IPD は少なく、STSS は多く検出された。侵襲性細菌感染症全体の発生数は増加しており、今年度も COVID-19 に対する感染対策の緩和が影響しているものと推察される。

E. 結論

調査に協力していただけない医療機関は無く、良好な関係が築けていると考える。今後も引き続き行政、各医療機関と連携をとり、菌株と臨床情報の収集につとめる。

G. 研究発表

1. 論文発表

Tamura K, Shimbashi R, Kasamatsu A, Chang B, Gotoh K, Tanabe Y, Kuronuma K, Oshima

K, Maruyama T, Nakamatsu M, Abe S, Kasahara K, Nishi J, Arakawa Y, Kinjo Y, Suzuki M, Akeda Y, Oishi K; Adult IPD Study Group. Unveiling the role of preceding seasonal influenza in the development of bacteremic pneumococcal pneumonia in older adults before the COVID-19 pandemic in Japan. *Int J Infect Dis.* 143, 2024.

2. 学会発表

丸山貴也、肺炎診療のガイドライン 新しい成人肺炎診療ガイドライン 2024 について肺炎の予防：新しい肺炎球菌ワクチンの展開、第 64 回日本呼吸器学会学術講演会

丸山貴也、モーニングセミナー1：新規ワクチンによる高齢者感染症の予防戦略 成人における肺炎球菌感染症予防の重要性、第 28 回日本ワクチン学会・第 65 回日本臨床ウイルス学会合同学術集会